

重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名 健康こども未来部

【令和4年度重点目標】

重点目標	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための迅速・適切な対応		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
1	<p>① 新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく適切な対応</p> <p>(1) 国、県（保健所）、医療機関等からの情報収集と連携</p> <p>(2) 上田市対策本部の運営と全庁体制での各種施策の実施</p> <p>② 新型コロナワクチン接種の円滑な遂行</p> <p>(1) 接種対象者が速やかに接種できる環境の整備</p> <p>(2) 接種対象者が安心して接種できる体制の確保</p> <p>(3) 接種に対する正しい情報の提供</p> <p>③ 感染予防のための正しい知識の周知</p> <p>(1) 広報紙への定期的な掲載</p> <p>(2) 市メール、SNS等でのタイムリーな情報発信</p> <p>(3) 研修会の開催（上田薬剤師会へ委託）</p> <p>(4) 感染に関する差別、中傷等の防止</p> <p>④ 医療体制の確保と医療従事者への支援</p> <p>(1) 医療機関への支援（発熱患者等診療体制確保協力金）</p> <p>(2) 医療従事者への支援（医療従事者等宿泊費補助金、感染症指定医療機関等医療従事者慰労金）</p> <p>⑤ 上田地域検査センターの継続的な運営</p> <p>上田市医師会及び上田保健福祉事務所と連携した運営</p> <p>⑥ 「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金」（仮称）の支給</p> <p>(1) ひとり親世帯</p> <p>(2) (1)以外の住民非課税の子育て世帯</p>	<p>①</p> <p>(1) 感染症対策コア会議出席</p> <p>(2) 対策本会議等の開催、集団接種会場の運営</p> <p>②</p> <p>(1) 十分な個別接種機関、集団接種会場の確保</p> <p>(2) 集団接種会場での適切な人材の確保</p> <p>(3) 国・県等の情報の適切な提供</p> <p>③</p> <p>(1) 毎月特集記事の掲載</p> <p>(2) 随時</p> <p>(3) 随時</p> <p>(4) 随時</p> <p>④</p> <p>(1) 対象医療機関へ年1回支給</p> <p>(2) 宿泊費補助金 随時 慰労金 上下半期1回ずつ</p> <p>⑤ 関係機関と連携した柔軟な運営</p> <p>⑥</p> <p>(1) 該当者全員に支給</p> <p>(2) 該当者全員に支給</p>	<p>①</p> <p>(1) 上田保健福祉事務所主催の上小医療圏新型コロナウイルス感染症対策コア会議へ出席した（10回）</p> <p>(2) 引き続き、全庁体制による集団接種会場でのワクチン接種を実施した。（延べ77会場）</p> <p>②</p> <p>(1) 個別接種機関への接種枠確保の依頼、また集団接種会場の確保を随時行った。</p> <p>(2) 看護師等の会計年度職員を積極的に採用した。（39人）</p> <p>(3) ホームページをこまめに更新し、最新の情報を提供した。</p> <p>③</p> <p>(1) ホームページをこまめに更新し、最新の情報を提供した。</p> <p>(2) 毎日行うメール配信で感染対策を呼び掛けた。</p> <p>(3) 自治会等に向け開催。（11回）</p> <p>(4) 毎日行うメール配信で差別等の防止を呼び掛けた。</p> <p>④</p> <p>(1) 医療機関への支援方法について協議を行った。</p> <p>(2) 慰労金について、上半期分の申請案内を各医療機関へ送付した。（3機関）</p> <p>⑤ 保健福祉事務所の要請に基づき検査センターを開設した。（90日）</p> <p>⑥</p> <p>(1) 1,652人（1,120世帯）に支給</p> <p>(2) 1,226人（659世帯）に支給</p>
2	<p>重点目標 将来にわたる安全・安心な周産期医療体制の基盤づくり</p> <p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>① 安全で安心な周産期医療提供体制の確保</p> <p>(1) 信州上田医療センターとの医療機能の再編・集約化に向けた取組</p> <p>(2) 医療機能の再編・集約化にかかる各種手続き</p> <p>(3) 公立病院経営強化プランの策定</p> <p>② 妊娠から出産、子育てへとつながる体制づくり</p> <p>(1) 関係機関と連携し、妊娠から出産、子育てまで切れ目のない支援</p> <p>(2) 母子保健事業や子育て施策の充実</p> <p>③ 信州上田医療センターとの連携強化</p> <p>(1) 医療の安全を第一とし、ハイリスクの妊婦を早期に紹介</p> <p>(2) 症例検討会を行い、役割分担を明確にして妊産婦の早期トリアージによる安全な医療の提供</p> <p>④ 女性のライフサイクルに合った支援の充実</p> <p>(1) 庁内関係課との連携による出前講座の充実</p> <p>(2) 「命の学級」の内容及び対象者の拡充</p> <p>⑤ 女性のヘルスケア診療の充実</p> <p>(1) ホルモン製剤による治療などの幅広い年代の女性に対応したヘルスケア診療の充実</p> <p>(2) 子宮がん検診や特定健診の積極的な実施</p>	<p>①</p> <p>(1) 年度内に関係機関と具体的な協議</p> <p>(2) 県などが示すスケジュールに沿った補助金要望や届出等の手続き</p> <p>(3) 年度内にあり方方針に沿ったプランの策定</p> <p>②</p> <p>(1) 産後ケア（通年） ショートステイ8件（前年比114%） デイケア3件（R4新規事業） 集団保健指導（R4新規事業）</p> <p>(2) 母親学級各種開催</p> <p>③</p> <p>(1) 定例カンファレンスによる情報共有及びリスク管理 1回/週</p> <p>(2) 症例検討会 2～3回/年</p> <p>④</p> <p>(1) 小中学校以外への出前講座（2つの講座を新設）</p> <p>(2) 中学生向け「命の学級」17回（前年比154%）</p> <p>⑤</p> <p>(1) LEP療法190例（前年比106%）</p> <p>(2) 子宮がん検診600件（前年比103%） 特定健診 30件（前年比130%）</p>	<p>①</p> <p>(1) 医療機能集約に伴う医療センターの体制整備について市長から医療センター院長へ再編・集約に対する協力依頼 医療センターへの財政支援等にかかる具体的協議 医療機能集約に伴う分娩中止及び閉院スケジュールの公表</p> <p>(2) 令和5年度地域医療介護総合確保基金事業補助金を県へ要望</p> <p>(3) 令和5年度末閉院を見据え、既存の新改革プランにあり方方針の基本施策を盛り込み、4年度版として改訂</p> <p>②</p> <p>(1) 産後ケア ショートステイ2件、デイケア1件</p> <p>(2) 母親学級（前期・後期・母乳育児学級）48人 ファミリークラス56人 産む力アップクラス24人 母乳育児カンファレンス152回</p> <p>③</p> <p>(1) 定例カンファレンス19回</p> <p>(2) 症例検討会 症例なし</p> <p>④</p> <p>(1) 保育園1回 高校（社会人講話）1回 事業所1回</p> <p>(2) 中学生向け「命の学級」6回</p> <p>⑤</p> <p>(1) LEP療法187例</p> <p>(2) 子宮がん検診384件 特定健診 9件</p>
3	<p>重点目標 「一人ひとりが健康で幸福なまち健幸都市の実現」に向けた各種健康施策の展開</p> <p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>① 「健康幸せづくりプロジェクト事業」の推進</p> <p>(1) 子どもの健康づくり支援 保育園運動プロジェクト「チャレンジキッズ」の実施</p> <p>(2) 若い世代からの健康づくり支援 ア 30歳代若年健診の実施 イ 妊婦無料歯科検診の実施 ウ 二十歳（はたち）歯科検診の実施</p> <p>(3) 健康づくりチャレンジポイント制度の実施</p> <p>(4) 健幸ウォーキング事業の実施</p> <p>(5) あたま・からだ元気体操の実施</p> <p>(6) 健康づくり応援アプリ「うえいく」の安定した運営</p> <p>(7) まちかど健康相談室</p> <p>(8) 「うえいく+（プラス）」事業の実施</p> <p>② 健康づくり啓発事業【新規】</p> <p>(1) 「健康づくり条例」のスタートアップ及びセブン&アイ・ホールディングスとの包括連携協定に基づく官民連携イベントの実施</p> <p>(2) 「健康づくり条例」施行に係る市民周知・広報活動の推進</p> <p>③ 市民健康づくり計画見直し、新規計画策定事業【新規】</p> <p>(1) 市民健康づくりアンケートの実施</p>	<p>①</p> <p>(1) 運動指導園児数：3,000人</p> <p>(2) ア（社保）受診者数：400人 ※（国保）受診者数：300人 イ 受診者数 500人 ウ 受診者数 150人</p> <p>(3) 参加者数：9,000人（新規500人）</p> <p>(4) 参加者数：1,000人</p> <p>(5) 参加者数：3,000人</p> <p>(6) ダウンロード数：700件</p> <p>(7) まちかど相談室15回</p> <p>(8) 参加者数：135人</p> <p>②</p> <p>(1) 7月29日開催</p> <p>(2) 広報うえだ、市ホームページへの掲載等</p> <p>③</p> <p>(1) 年度内に市民アンケートを実施し健康実態を把握する。</p>	<p>①</p> <p>(1) 運動指導園児数：延べ1,137人（9月末現在）</p> <p>(2) ア（社保）受診者数：106人（8月末現在） ※（国保）受診者数：37人（8月末現在） イ 受診者数 228人（8月末現在） ウ 受診者数 43人（8月末現在）</p> <p>(3) 参加者数：8,931人（9月末現在）（新規参加者数：423人）</p> <p>(4) 参加者数：307人（9月末現在）</p> <p>(5) 参加者数：2,254人（9月末現在）6月4日（土）から毎週土曜日開催</p> <p>(6) ダウンロード者数：633件（9月末現在）</p> <p>(7) 相談室：5回</p> <p>(8) 参加者：延べ51人（9月末現在）</p> <p>②</p> <p>(1) 7月29日（金）開催</p> <p>(2) 広報うえだ8月号掲載、上田市ホームページ掲載 上田市ツイッター投稿</p> <p>③</p> <p>(1) 市民アンケート送付（9月末締切） 中高生アンケート依頼（9月末締切） 母親アンケート依頼（9月末締切）</p>

重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名 健康こども未来部

【令和4年度重点目標】

3 (つづき)	④ 糖尿病等生活習慣病予防の推進 (1) プログラムに基づいた保健指導の実施 (2) 対象者に応じた受診勧奨の強化（電話、訪問等） (3) 「第2次上田市食育推進計画」の推進と進捗管理	④ (1) 保健指導実施者数：400人 (2) 受診勧奨数：800人 (3) 庁内連携会議：1回	④ (1) 保健指導実施者数：126人（9月末現在） (2) 10月から開始 (3) 庁内連携会議：1回
	⑤ 検（健）診の受診率向上強化	⑤ 医療機関に受診勧奨協力依頼	⑤ 62医療機関に実施
	⑥ こころの健康づくりの推進 (1) 「自殺対策連携会議」による進行管理 (2) ゲートキーパー研修の実施 (3) こころの健康づくり講座実施	⑥ (1) 自殺対策連携会議の開催 (2) 修了者20人、継続者20人 (3) 年度中2コース開催	⑥ (1) 6月21日に開催 (2) 修了者 21人 フォロー研修受講者 41人 (3) 10月～11月に実施予定

重点目標 子どもを産み、育てる喜びが実感できるまちづくりの推進

具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
① 第2次上田市子ども・子育て支援事業計画の進行管理 (1) 子ども・子育て会議委員の選定、会議開催 (2) 計画の進行管理 (3) 中間年における計画の見直し	① (1) 選考・委嘱・会議開催 (2) 子ども・子育て会議で検証・評価 (3) 計画の見直し内容の公表	① (1) R4.5月 書面会議及びR4.7.28会議で委員委嘱等実施 (2) R4.7.28 会議で計画の進捗報告・協議等実施 (3) R4.11.7、R4.2.8会議で実施予定
② 地域における子育て支援の充実 (1) 子育てサポーターの活動支援と養成講座の開催 (2) 地域で活躍している子育て支援団体との連携	② (1) 子育てサポーター活動 500回 (2) 年度を通して実施	② (1) 子育てサポーター活動回数 71回 (2) R4.10月に第17回わくわくファミリーフェスタを実施予定
③ 子育て世帯包括支援センターの機能充実 (1) 母子保健コーディネーターと子育て支援コーディネーターの連携強化 (2) 地域の関係機関との連携、協働の体制づくり (3) こども家庭センター設置の検討	③ (1) 連携会議 月1回 (2) 各所巡回 月1回 (3) こども家庭センター設置の方向性を決定	③ (1) 連携会議 月1回 (2) 各所巡回 月1回 (3) 厚生労働省説明会参加(8/29)、庁内関係課と協議(9/20)
④ 子育て支援情報発信の充実 (1) 子育て応援サイト「うえだ家族」への子育て情報の提供 (2) 子育て情報内容充実	④ (1) 「うえだ家族」情報の更新：月120件以上 (2) 子育て応援ハンドブック更新 発行1回、メール配信月1回	④ (1) 情報の更新：月平均84件 (2) 子育て応援ハンドブック発行、子育て情報メール配信月1回実施
⑤ 妊娠出産包括支援事業の充実 (1) 妊娠届受理からの医療機関等との連携および妊産婦支援 (2) 産後ケア事業等による産婦支援の充実 (3) 多胎妊婦健康診査支援事業の充実（妊婦健診追加受診の補助）	⑤ (1) 連絡箋発信・返信200件程度 (2) 利用者数 40人 (3) 全ての対象妊婦利用	⑤ (1) 9月末現在 連絡箋返書14件 発信3件 電話等での連絡83件 (2) 9月末現在 申請者数 29人 (3) 4月からの対象者へ個別通知、妊娠届け出時に案内

重点目標 幼児教育・保育のニーズに応える子育て支援の推進

具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
① 公立保育園のICTツール導入 (1) 先行導入園（3園）の検証、効果的な導入に向けた検討・研修 (2) 公立全30園でのICTツールの運用開始	① (1) 検証・検討・研修完了（12月末） (2) ICTツールの運用開始（1月末）	① (1) ICT化ツールの検証、使用する機能の洗い出しを実施 (2) ネットワーク構築等を実施、運用開始見込は12月
② 上田市保育施設整備計画等に基づく保育施設の整備 (1) 武石保育園長寿命化改修工事 (2) 保育施設等の再配置に向けた調査・研究	② (1) 改修工事完了（年度内） (2) 素案作成（年度内）	② (1) 指名競争入札により業者決定し着工（R5.1月竣工予定） (2) 地元要望等を踏まえ、保育施設再配置計画素案を検討中
③ 質の高い幼児教育・保育の質の推進と受入体制の充実 (1) 民間運営の小規模保育事業新設に向けた支援 (2) 私立日向幼稚園認定こども園化施設整備事業への支援 (3) 信州型自然保育認定の認定園拡大 (4) 発達支援体制の強化・支援者の資質向上	③ (1) 補助金交付等による支援（年度内） (2) 補助金交付等による支援（年度内） (3) 1園認定（年度内） (4) 相談事業・研修会の開催（年度内）	③ (1) 補助金交付及び設置認可に係る審査等を実施 (2) 補助金交付に係る国・県等との協議等を実施 (3) 西内保育園の信州型自然保育認定（9月） (4) 相談事業61回、巡回指導62回、学習会・研修会6回開催
④ 一時預かり利用者の負担軽減による子育て支援 (1) 一時預かり利用者への補助支援	④ (1) 要綱改正による支援開始（7月末）	④ (1) 要綱改正を行い、支援を開始（8月）
⑤ 保育人材の確保 (1) 保育士養成校に通う学生の保育所への就職促進 (2) 再就職希望者への支援、多様な人材の確保	⑤ (1) 職場説明会、ガイダンス等への参加（通年） (2) 相談会、保育の職場体験会を各2回開催、看護師・事務職の採用	⑤ (1) 職場説明会を10月、11月に計画 (2) 看護師3名、事務職7名を採用

重点目標 医療費適正化の推進と国民健康保険の適切な運営

具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
① 医療費適正化の取組（保険者努力支援制度評価項目） (1) 特定健診等実施率向上の取り組み (2) 第三者賠償請求の取組推進 (3) 後発医薬品の利用促進	① (1) 実施率 55.0% (2) 被害届受理日までの平均日数 120日 (3) 後発医薬品使用割合 82%以上	① (1) 令和4年8月末現在受診率10.3% (2) 172日（令和4年8月末現在） (3) 【国保】83.9%（R4.8月末現在）
② 国保財政の健全な運営 (1) 応益割保険料（医療分）の検討	② (1) 国保運営協議会への諮問、答申 （改定の場合3月議会へ条例改正提案）	② (1) 10月20日に第1回国保運営協議会開催予定
③ 収納率の向上と国保資格適用の適正化の推進 （国保：(1)(3)保険者努力支援制度評価項目） (1) 収納率の向上 (2) オンライン資格確認等システムを活用した国保加入勧奨の実施 (3) オンライン資格確認等の実施に伴うマイナンバーカード取得推進	③ (1) 現年度分収納率 95.2% (2) 加入届出勧奨通知の送付 (3) マイナンバーカードの取得勧奨文等の送付	③ (1) 滞納者には窓口で納税勧奨。当初納税通知書及び更正通知書に口振依頼ハガキ同封 (2) 勧奨通知送付の準備中。10月通知予定。 (3) 8月1日の保険証更新時にリーフレット同封
④ 健康寿命の延伸と医療費の適正化 （高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施） (1) 事業全体の協議、関係部署との調整・連携 (2) フレイル予防及び健康増進事業 ア 高齢者に対する個別支援 イ 通いの場等への積極的関与	④ (1) 庁内関係部署との連携会議、関係団体との連携・情報共有 (2) ア 保健指導等実施人数：750人 イ 地域サロン・地域リハ等へ実施 実施団体数：41団体 参加人数：1,300人	④ (1) 関係部署と必要に応じ会議を開催。 (1) 今後、関係団体との連携・情報共有を予定。 (2) ア 保健指導等実施人数：369人（9月末現在） イ 実施団体数：8団体、参加人数：93人（9月末現在）

重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名	健康こども未来部
-------	----------

【令和4年度重点目標】

重点目標	多様なニーズに応えるきめ細かな子育て支援の充実		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
7	<p>① 発達支援体制の強化</p> <p>(1) 発達支援事業の啓発と強化</p> <p>ア 「うえだ発達支援事業」パンフレットの配布、出前講座の開催にて周知を図る</p> <p>イ 発達障害に関する正しい理解と適切な対応について市民向け講演会を定住自立圏構成市町村と共同開催</p> <p>(2) 発達相談、支援の充実</p> <p>ア 巡回相談（幼稚園）</p> <p>イ 発達支援に関する研究会の開催</p> <p>ウ 支援ノート「つなぐ」を活用し成長段階に応じた支援を継続する。</p> <p>エ 「感覚を育てる教室」の開催</p> <p>オ 4か月健診における作業療法士の個別相談</p> <p>カ ペアレントトレーニングの開催</p> <p>(3) 発達支援に関する支援者の資質向上【定住自立圏取組項目】</p> <p>ア 上田地域定住自立圏検討会議の開催</p> <p>イ 保育士支援事業</p> <p>② 虐待予防と早期発見、適切な対応のための体制づくり</p> <p>(1) 子ども家庭総合支援拠点の円滑な運営に向けた機能の充実及び関係機関や地域との連携強化を図る。</p> <p>ア 児童虐待のほかヤングケアラー等の新たな課題に対応するための支援策の検討</p> <p>イ 要保護児童対策地域協議会の開催による関係機関との連携強化</p> <p>(2) 児童虐待の発生を未然に防止するため、啓発活動、講演会の開催</p> <p>③ ひとり親家庭への支援の充実</p> <p>(1) 生活の安定を図るため、就職に有利な資格取得等に対する経済的支援を行う。</p> <p>(2) 子どもの生活・学習支援事業の実施</p>	<p>①</p> <p>(1)</p> <p>ア 6月頃までに保育園、学校関係機関に配布</p> <p>イ 市民向け講演会 年1回開催</p> <p>(2)</p> <p>ア 幼稚園巡回24回</p> <p>イ 講師研修会</p> <p>ウ 広報及び関係機関に通知発送</p> <p>エ 幼児3コース</p> <p>オ 4か月健診開催回数</p> <p>カ 2コース</p> <p>(3)</p> <p>ア 発達相談センター：検討会 3回</p> <p>イ 園での運動教室 2園</p> <p>支援者向けペアレントトレーニング 1回</p> <p>②</p> <p>(1)</p> <p>ア 新たな支援策の構築</p> <p>イ 代表者会議 1回、実務者会議 3回</p> <p>個別支援会議 随時</p> <p>(2) 講演会 1回</p> <p>広報うえだへの啓発記事掲載</p> <p>③</p> <p>(1) 高等職業訓練等各種制度の利用者増</p> <p>(2) 小学5・6年生 各15人</p>	<p>①</p> <p>(1)</p> <p>ア R3年度から保存版としたため要望のある部署へ追加補充300部</p> <p>イ オンラインによる市民向け講座を10月15日(土)に開催予定</p> <p>(2)</p> <p>ア 8園に実施中 10回(10月1日現在)</p> <p>イ 作業療法士による研修会3回実施(全4回予定)</p> <p>ウ 5月号広報掲載 園長会、校長会での周知</p> <p>エ 幼児コース2回(1コース6組参加7回実施 2コース4組7回実施)</p> <p>オ 4か月健診時の個別相談30回(10月1日現在)</p> <p>カ 2コース(1コース全7回のべ31人 2コース目10月開始予定)</p> <p>(3)</p> <p>ア 発達相談センター：検討会1回(10月1日現在)</p> <p>イ 保育園での運動教室11月より1園予定</p> <p>支援者向けペアレントトレーニング(6人1コース6回実施)</p> <p>②</p> <p>(1)</p> <p>ア 児童相談所と支援体制の確認、協議を実施</p> <p>イ 代表者会議1回、実務者会議1回、個別支援会議随時開催(189回)</p> <p>(2) オンライン講演会実施 受講者数21回線</p> <p>民生委員等への周知・啓発の実施</p> <p>広報うえだへの児童虐待防止啓発記事掲載</p> <p>③</p> <p>(1) 高等職業訓練給付事業利用者17人(新規1人)</p> <p>(2) 小学5年生11人 小学6年生11人 9月から毎週1回開催</p> <p>自立支援教育訓練給付金利用者 2人</p>
8	<p>重点目標 救急医療体制の整備と医師の確保による地域医療体制の充実</p> <p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>① これまでの事業の検証、改善策の検討及び事業の推進</p> <p>(1) 看護師確保のための施策の実施</p> <p>(2) 鹿教湯病院再編に伴う財政支援時期の検討</p> <p>② 安定的な医師確保体制の整備と充実</p> <p>(1) 上田市医師確保修学資金等貸与制度の実施及び制度の見直し</p> <p>(2) 信州上田医療センターが実施する医師確保事業への支援</p> <p>③ 救急医療体制の確保</p> <p>(1) 内科・小児科初期救急センターの運営と周知</p> <p>(2) 深夜・休日の初期救急患者受入体制の整備</p> <p>(3) 病院群輪番制病院と後方支援病院の信州上田医療センターへの支援</p> <p>④ 地域の医療環境を守るため、医療機関の役割を広報し、適切な受診を推奨</p> <p>⑤ 広域連合ふるさと基金を活用した地域医療対策事業の実施及び事業の検証</p>	<p>①</p> <p>(1) 看護師確保のための奨学金制度創設の検討</p> <p>(2) 鹿教湯病院再編に伴う財政支援時期の検討</p> <p>②</p> <p>(1) 制度廃止時期の検討、廃止後の新たな医師確保策の検討(当初予算要求時まで)</p> <p>(2) 信州上田医療センター医師数の増加(通年)</p> <p>③</p> <p>(1) 小児科担当医師の確保</p> <p>(2) (3)</p> <p>広域連合、関係市町村と連携して事業を実施。初期救急医療と二次救急医療体制の確保(通年)</p> <p>④</p> <p>地域医療政策総合調整参事による講演会等の開催</p> <p>広報うえだを活用した啓発</p> <p>⑤</p> <p>令和6年度以降の事業実施の要否の検討(通年)</p>	<p>①</p> <p>(1) 他自治体等の情報収集と制度内容等の骨格を作成した。</p> <p>(2) 再編工事の進捗状況及びスケジュール等を確認した。引き続き財政支援時期について検討する。</p> <p>②</p> <p>(1) 制度創設時から現在までの成果や現在の効果等の検証を実施した。医師確保策に有効な事業について、既存事業の充実を含めた検討を行う。</p> <p>(2) 信州上田医療センターの医師数は7月現在83人</p> <p>③</p> <p>(1) 対応策について検討中</p> <p>(2) 広報うえだ8月号で特にこどもの夜間休日等の相談・受診方法を周知</p> <p>(3) 深夜の初期救急患者の受入れを医師会に委託し、病院群輪番制病院での受入体制を継続。広域連合と連携して二次救急医療機関を支援し、救急医療体制を確保している。</p> <p>④</p> <p>保健師等向けの講演を9月に実施</p> <p>広報うえだ8月号に必要な受診等の啓発記事を掲載(全3回シリーズの第1回)</p> <p>⑤</p> <p>広域連合主催の会議に出席し、構成市町村等と事業内容について協議</p> <p>広域連合と事業内容の協議を適宜実施している</p>